

自ら機会を作り出す
人材を輩出する

2026

7

SOEN

語れる体験はあるか

説明してくれてありがとう

学びは学校だけじゃない
地域というフィールドで
可能性を広げていく

DoForOthers in Christ
広島三育学院



「語れる体験はあるか」
ソアンは広島三育学院が運営している
社会体験型教育プログラムです

小さな「ありがとう」が、 心をつないだ日

伝わっていた。目には見えない心のやりとり

相手を大切にすること。

相手の可能性を信じること。

相手の心に近づこうとすること。

その積み重ねが、人と人との心をつないでいきます。

人と人は、言葉の多さだけで
つながるわけではありません。



あきんどプロジェクト



あきんどプロジェクト

小さな「ありがとう」が、心をつないだ日

先日、あきんどプロジェクトの一環として、仲間の皆さん（社会福祉法人みどりの町の利用者）を学校にお招きし、高校生によるマナー教室を実施しました。

二期に予定している仲間の皆さんによるカフェ運営に向けて、高校生たちは挨拶の仕方、身だしなみ、ウェイターとしての心得などを自分たちで考え、準備し、十七名の仲間の皆さんに一生懸命伝えました。

仲間の皆さんの中には、自分の意思を言葉で伝えることが難しい方も多く、大きな反応が返ってこない場面もありました。それでも高校生たちは、「伝わっているかな」「これでよかったかな」という不安を抱えながら、五〇分間、目の前の一人ひとりに丁寧に向き合い続けました。

活動後、会場を片付けていると、机の上に一枚の紙が置かれていました。

その紙の左下には、小さく、でも力強く、こう書かれています。

「今日は説明してくれたありがとう」

その言葉を高校生たちに共有した時、涙を浮かべながら紙を見つめる姿がありました。

人と人は、言葉の多さだけでつながるものではありません。大きな反応がなくても、すぐに感謝の言葉が返ってこなくても、心はちゃんと届いていることがあります。

誰かのために働くことは、相手を大切にし、相手の可能性を信じ、相手の心に近づこうとすることです。

今回のマナー教室は、高校生たちにとって、働くことの意味と、人と人がつながる温かさを感じる大切な時間となりました。

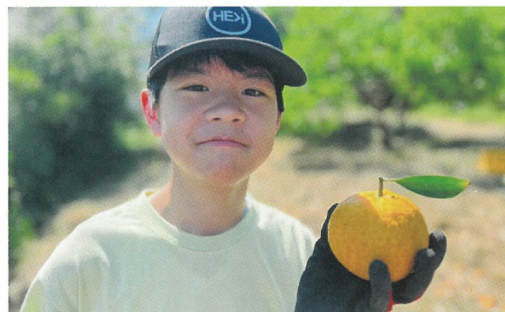
佐木島プロジェクト

佐木島の甘夏収穫で考えた、
ウェルビーイングと関係人口の本質。
口紅をして待ってる

全文はnoteに



関係人口は、
「また会いたい」から始まる



ソアンの活動で、中学生が佐木島を訪れ、甘夏の収穫をお手伝いしました。

農園の方に教えていただきながら、生徒たちは甘夏を収穫し、かごに入れ、声をかけ合いながら作業を進めました。

今回、特に心に残ったのは、農園の方が中学生たちに会えることを楽しみに、久しぶりに口紅を塗って待っていてくださったことです。

それは、ただ身だしなみを整えるということではありませんでした。

「学生たちが来てくれる」

「久しぶりに若い人たちに会える」

「また一緒に時間を過ごせる」

その喜びが、口紅を塗るという小さな行動に表れていたように感じます。

地域に人が訪れることには、数字だけでは測れない意味があります。観光客の数や参加人数だけではなく、「また会いたい」と思える人がいること。「来てくれてうれしい」と待ってくれる人がいること。そして、訪れる側も「また行きたい」と思える関係が育っていくこと。

それが、関係人口の本質なのだと思います。

生徒たちは、甘夏を収穫するだけでなく、地域の方の温かさに触れ、人と人がつながることの意味を学びました。

誰かに会いに行くこと。

一緒に手を動かすこと。

同じ時間を過ごすこと。

その一つひとつが、地域と学校をつなぎ、互いの暮らしに小さな喜びを生み出していきます。

佐木島の甘夏収穫は、生徒たちにとって、関係人口とは単なる地域に関わる人数ではなく、人と人との間に生まれる温かな関係そのものなのだと感じる、大切な学びの時間となりました。

SOEN venture project



ソアンのプログラムとして、音楽を通して地域に貢献するチーム「Soli Deo gloria」が発足しました。

今回は、佛通寺と社会福祉法人みどりの町でコンサートを行い、音楽を通して地域の方々と心温まる時間を分かち合いました。



語れる体験はあるか

SOEN venture project



音楽と寄り添いで生まれた、やさしい時間

チーム医療

みどりの町でのコンサートでは、Ventureチーム「チーム医療」も帯同しました。障害を持たれている方のそばに座り、一緒に音楽を楽しむサポートを行いました。

演奏する人、聴く人、そばで寄り添う人。

それぞれの役割が重なり合い、会場にはやさしい時間が流れていました。

今回の活動は、生徒たちにとって、音楽を届けることの意味と、誰かと共に楽しむことを支える大切さを学ぶ機会となりました。



語れる体験はあるか

中高生がつくる、地域に関かれたあきんどプロジェクト

人と価値をつなぐ学び



あきんどプロジェクト始動



今年度のおきんどプロジェクトでは、企画から準備、実施までを中高生のあきんどチームが担当します。生徒たちは、誰に何を届けるのか、どうすれば喜んでもらえるのかを自分たちで考え、地域や相手のことを想像しながら活動を進めていきます。このプロジェクトでは、商いを通して、企画する力、伝える力、チームで動く力、お金の流れを考える力を学びます。売ることの先にある、人と人をつなぐ学びを大切にしながら、中高生の新しい挑戦が始まります。

語れる体験はあるか



大和町萩原×ソアン

31羽の小さいいのちが、
地域と学びをつなぐ



チームいのちでは、大和町萩原地区の石川さんが取り組む合鴨農法に関わり、あひるの赤ちゃん31羽を田んぼデビューの日まで飼育しています。生徒たちは、えさやりや水の管理を通して、小さいいのちを預かる責任を学んでいます。この活動は、地域の農業を支える仕組みを学ぶ大切な地域連携プロジェクトです。

01

あひる受け入れセレモニー



全校生徒であひるを受け入れ！

02

あひる飼育スタート



チームいのちのメンバーが
中心となって飼育しました！

03

あひる田んぼデビュー！



成長したあひるの
田んぼデビュー！



語れる体験はあるか



一緒に遊び、一緒に育つ こども園サポート

ソアンでは、高校生がこども園を訪問し、園児たちの遊びをサポートしています。一緒に走ったり、声をかけたり、遊びの中で安全を見守ったりしながら、子どもたちと温かな時間を過ごしています。高校生にとっても、相手の目線に立つことや、年齢の違う子どもたちと関わることを学ぶ大切な機会となっています。遊びを通して、園児にも高校生にも笑顔と学びが広がっています。

遊びの時間が、
学びの時間になる。

遊びの時間が、
学びの時間になる。

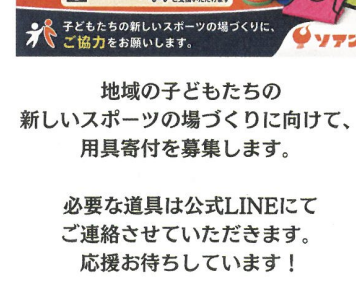


語れる体験はあるか

部活の未来を、
地域みんなでつくる

部活がつなぐ、学校と地域の新しい形

地域の小中学生がスポーツを通して交流する「合同部活プロジェクト」をスタートしました。少子高齢化により、地域の学校では部活動の継続が難しくなっています。学校の枠をこえて一緒に体を動かし、仲間と出会うことで、子どもたちの新しい学びと交流の場をつくっていきます。



地域の子どものための新しいスポーツの場づくりに向けて、用具寄付を募集します。

必要な道具は公式LINEにてご連絡させていただきます。応援お待ちしております！

ソアンでは公式LINEにて、最新の情報やどこよりも早いソアンニュースデジタル版をお届けしています。

公式LINEに公式HPやパートナーズHPのリンクがありますので、ぜひご登録ください。

ソアン公式LINEについて



ーソアン広島ー



5/17 スマイルラボ
ソアンパートナーズの
スマイルラボさんにて
いちご狩り！！



5/22 ふれあい動物園
地域の移動動物園の
運営をサポート！



6/12 みどりの町
ソアンパートナーズの
社会福祉法人みどりの町
のみなさんと交流会！



5/15 みどりの町
ソアンパートナーズの
社会福祉法人みどりの町
のみなさんと交流会！



6/19 地域貢献
地域の無人販売所の
清掃活動！



5/17 田植え体験
お世話になっている
吉岡さんの田んぼで
田植え体験！



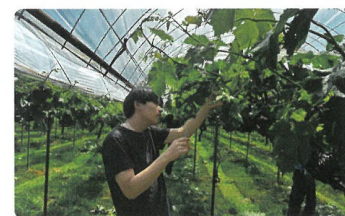
6/29 白市島
白市島で
ビーチクリーン活動！



5/22 運動会準備
系列小の運動会の準備！



5/24 運動会お手伝い
系列小の運動会の
運営サポート！



5/22 スマラボ
ソアンパートナーズの
スマイルラボさんにて
お手伝い！



6/14 中間報告
チームソアンが中心になり
各ソアンの中間報告会を
行いました！



キャリア教育講演
ファウンダーの中村が
名古屋にてソアン視点の
キャリア講演を実施！

沖縄だからできることがある

ソアン沖縄の 「語れる体験」



【自然体験】

ONC(オキナワ・ネイチャー・キャンプ)
1日目はPAプログラムを体験し、2日目は海
でのプログラムと珊瑚畑での学習を行いました。



【キャリア教育】

卒業生の株式会社ソダチエル代表の喜舎場
さんをお招きし、キャリア教育プログラムの時
間を持って頂きました。



【職業体験】

卒業生を講師にお招きし、月桃で箱を作りま
した。沖縄ならではの体験に、生徒も夢中
になって取り組んでいました。



【地域貢献】

今年も名護市旭川区で配布する、お花の
苗作りのお手伝いをさせて頂きました。み
んなで協力し、日頃お世話になっている旭
川区のために頑張りました。



【地域探索】

沖縄県北部にある動物園「やんばるライオ
ン」に行ってきた。動物と近くで触れ合
う事ができ、動物好きの生徒は大喜びでし
た。



【地域探索】

「県民の森」を訪問し、ハイキングをしてき
ました。素晴らしい天気のもと、楽しいひと
時を過ごす事ができました。



【環境保全】

ビーチクリーンに行ってきました。
今後も定期的に行っていきたいと思います。



【地域探索】

海洋博公園を散策し、様々な事を学んでき
ました。毎回訪問する度に、楽しく色々な事を学
ばさせて頂いています。



【地域探索】

沖縄昆同好会の会合に参加し、同好会の方
が2001年に発見したオオスミヒゲナガカミキ
リ虫の講義を受けました。

確実に「自ら機会を作り出せる」生徒が育っています。



語れる体験はあるか



語れる体験はあるか——ソアンニュース7月号/ソアン沖縄

沖縄三育中学校HP



新ロゴリリース



松明——新しい世界へと 導く、命の火。

THE TORCH THAT LIGHTS THE WAY TO A NEW WORLD.

SOENのロゴは「松明」です。
松明とは、暗闇の中で行く先を照らし、人を導く火。
教育という領域で、子どもたちが生きていく新しい世界に光を灯すこと。
——そのコアアイデンティティをこの**一本の火**に込めています。

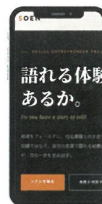
松明の火には、**二つの力**があります。

ひとつは**温かさ**。
炎の周りに集まる人々を包む温もりは、自分自身の豊かさに気づくことから生まれます。
まず自分が温くなる。その熱が、周りへと伝わっていく。

もうひとつは**伝播**。
一本の松明は、別の松明に火を移すことができます。
自分の豊かさに気づいた人が、人のために生きる。
その炎が連鎖し、地域へ、社会へと広がっていく
——それがSOENの描く「命をつなぐ」という姿です。

そして松明は、知識を与えない。
炎に触れた人が、自分の中の火に気づく。
SOENが目指すのは、教えることではなく、**こころの火を灯す**ことです。

教育は、ここまで社会とつながれる。



SOENアプリは、
スマートフォンで
簡単にダウンロード
できます。



ソエン



ありがとう、僕の思いを君に託すね

恩おくり奨学金のご案内

一般財団法人 恩おくり財団



Pay it forward —— 感謝と喜びの連鎖を、次世代へ

受けた恩を、くれた人に返すのではなく、必要とする誰かへ送っていく。恩おくり奨学金は、経済的な困難や学業成績ではなく、**地域や社会のために自ら行動しようとする志と姿勢**を評価して給付する、返済不要・給付型の奨学金です。支援を受けた学生が社会奉仕活動を通じて次の誰かへ想いをつなぎ、関わるすべての人に感謝と喜びが訪れる——そんな循環を、私たちは育てています。

● 恩おくり奨学金の特徴

返済不要の給付型奨学金

経済的な困難や成績ではなく、活動への志や姿勢を評価して給付します。

ボランティアによる恩の連鎖

子ども・障がい者・医療・被災地支援など、60時間程度の社会奉仕活動に取り組みます。

サポーターとの繋がり

担当サポーター（財団会員）と共に恩おくりの輪を広げます。

対象

原則25歳までの大学・大学院・短期大学・専門学校生（心身ともに健康な方／休学・停学中は対象外）。
高校生は財団と連携した学校法人を介して申請します。

給付の条件

奨学金に申請し、規定のボランティアプログラムに参加することで給付を受けられます。

● 恩おくりの循環



支援者・恩おくり財団



新たな支援者へ



地域社会・次の世代へ

奨学金の給付



社会への恩おくり

高校生・大学生



プログラム参加



子ども支援・災害支援活動

給付型（返済不要）

20万円

ボランティア開始時に10万円、修了時に10万円。サポーターの思いを受け取り、恩おくりの循環が始まります。

- ▶ 支援者の想いが、奨学金と教育支援に
- ▶ 学生がボランティアで社会に貢献
- ▶ 助けを必要とする誰かへ、恩が届く
- ▶ やがて学生自身も「与える人」へ育つ

この恩おくりの輪に、加わりませんか。

恩おくり奨学金は、資金援助だけでなく、学生・サポーター・ボランティア受入先がチームとして活動していく制度です。次の三つの関わり方で、この輪に加わることができます。

学生として参加する

奨学金に申請し、社会奉仕活動を通して受けた恩を次の誰かへおくる一員になりませんか？

サポーターとして支える

財団の会員として学生の活動を見守りながら、与える喜びを共に分かち合いたいよう。

施設として学生を受け入れる

学生のボランティア活動の場をご提供いただける施設を募集しています。

お問い合わせ・申請・会員入会の相談：一般財団法人 恩おくり財団 事務局
Web : <https://www.onokuri-scholarship.jp/>

恩おくり奨学金
公式サイトへ→



ソアンパートナーズ 協賛・協力企業等一覧



ソアンを 応援する

協賛金:10,757,250円

※2023年9月～2026年7月現在

ソアンプロジェクトにご協賛・ご協力いただきありがとうございます。

一般財団法人恩おくり財団

「未来に託せる思いはあるか」

恩おくり奨学金を主幹事業とし、子ども支援活動を行う団体です。

一般的な奨学金が「経済的な困難」や「学業成績の優秀度合い」を基準とするのに対し、地域や社会のために自ら行動しようとする学生を対象に、活動への志や姿勢を評価する給付型の奨学金制度です。学生が社会奉仕を喜びとできる人格形成の一助となることを主な目的としています。

ありがとうを、次の誰かへ。日本の風土「恩おくり」の循環を次世代につなぐストーリーの始まりです。



公式HP

医療法人社団 飛翔会 寛田 司 様

医療法人社団 飛翔会の理事長の寛田司です。私は広島三育学院の前身の日本三育学院の卒業生で、子供達三人は広島三育学院卒業生です。当法人にも二名の卒業生がいます。当法人は、整形外科・内科疾患に限らず、プロスポーツチームのケアの経験を通して、スポーツ障害・外傷までを対象として、診察から検査、リハビリテーションまで一貫したシステムで診療を行っています。スポーツ医学の経験を一般治療に活かし、「運動」を用いた予防医療、生活習慣病治療を日々追求しています。また、アスリートに対しては、スポーツ種目やその動作を考慮して、筋力、柔軟性、バランスを含めたコンディショニングも行い、早期競技復帰をサポートしています。



飛翔会グループ

広島三育学院後援会

後援会は、卒業生、保護者と信徒による広島三育学院の応援団です。今の時代に必要な広島三育学院の教育を様々な形で応援します。

sakai family fund

ミツケサロン代表

第三回卒業生 坂井 等 様

"Let's start giving."

"与えることから始めよう"



株式会社スマイルアグリ(SMILE-LABO HIROSHIMA)

農を通じて、一人一人の笑顔があふれる豊かな未来を創造し「笑顔」が絶えない地域社会を築くための研究所。社員一人一人が研究者であり、笑顔が生まれるために必要なもの、笑顔が絶やさない持続性、笑顔がもたら未来を見据えて大和町、三原市、広島県から世界へ、笑顔と共に事業発展と社会貢献に邁進します。

株式会社とまとはうすコーポレーション 吉岡 康仁 様

広島県三原市大和町で17代目の米農家をしております。無農薬米、減農薬米を中心に栽培しながら、お祭りの主催もしております。広島県三原市大和町より、皆様を応援しております。

社会福祉法人みどりの町(Greentown Peace Project)

わたしたちは、障がいのある・なしにかかわらず、自分らしく、楽しく、心が豊かで平和な暮らしが持続できる地域共生社会の実現を目指す社会福祉法人です。



ソアンパートナーズ

海老原 行男 様	田中 仁美 様	押見 大地 様
亀山 晴人 様	箕輪 文子 様	村上 寛 様
下地 英樹 様	森山 元氣 様	藤谷 直子 様
笹岡 俊二 様	中村 修 様	松田 健 様
上田 洋一 様	上田 昇子 様	石川 哲也 様

ソアン協賛
申し込みフォーム

株式会社創心万華鏡

三育フーズ株式会社



ソアン「で」支える。ソアン「を」支える。
応援の形はそれぞれの形で。

ソアンで「誰かを」支えたい。その「ソアンを」支えたい。その思いをソアンパートナーという形で応援してみませんか。

